

# 本校における図画工作科の取り組み

釜石市立甲子小学校

教諭 金崎 恵理

## 1. はじめに

本校は、岩手県沿岸部にある釜石市西部に位置し、片羽山（1,269m）、愛染山（1,238m）、五葉山（1,341m）、松倉山（615m）等の山々に囲まれ、片羽山付近を源として東流する甲子川が近くを流れる、とても自然豊かな地域にある、全校児童 258 名の学校である。「知性と豊かな心に富み、たくましい実践力に充ちた心身ともに健康な児童の育成」を学校教育目標とし、「かしこく、やさしく、たくましく」「一人一人が主人公」を心がけながら日々の教育活動を行っている。

## 2. 図画工作科の取り組みについて（図画）

### ①題材選びについて

- ・図画は心の表現と考えている。楽しかったことや驚いたことなど、子どもたちが日々の生活の中で感じたことを、絵という方法で表現させるようにしている。
- ・自分の「思い」を表現するために、個々の「思い」を大切にするとともに、それを表現するために様々な技法があることを指導している。

### ②構図について

- ・絵のテーマによって、どのような構図が伝わりやすいかを考える視点を与えるようにしている。
- ・「思い」を大切にするため、子どもが描いているものを否定せず、より思いが伝わるようにアドバイスをするようにしている。
- ・伝えたいものを大きく描くことを心がけるよう指導するようにしている。
- ・ポスター等は、可能な限りよい見本を見せながら考えさせる。

### ③色づくりについて

- ・絵の具やパレットの使い方、水の量、ぬる順番等、発達段階に応じて指導を繰り返すようにしている。
- ・「上手に色塗りができるコツ」として、児童が興味を持つような指導を心がけている。
- ・色づくりをするときには、晴れた秋の空の青色やほうせんかのオレンジ色など、自然の中で見た美しい色を思い出しながら色づくりに取り組むなど、子どもたちの感性を刺激するような指導を目指している。

### ④鑑賞について

- ・自分が描いたものをじっくりみる、友だちが描いたものをじっくりみることを大切にする。その時には、どんなところをみるのか視点を与えながら、次に自分が描く時につながるような「み方」を心がける。

## 3. おわりに

この度は、伝統ある展覧会で文部科学大臣賞という名誉ある賞をいただき、大変光栄である。今後も本校の児童の「思い」を大切に作品づくりに励んでいきたい。

# 本校における美術科の取組

袋井市立袋井中学校  
美術科担当 大瀧 仁美

## 1 はじめに

本校は静岡県西部に位置し、かつて東海道の真ん中『袋井宿』として親しまれた街にある学校です。遠州三山といわれる法多山・油山寺・可睡斎などの伝統的な寺社を有し、夏には例年『ふくろい遠州の花火』という大規模な花火大会が開催されるなど、豊かな文化に恵まれた環境にあります。

## 2 本校の取り組み

### (1) ICT機器の活用

袋井市 GIGA スクール構想の取組として生徒一人一台の ICT の活用を推進しており、美術科として、タブレット PC を用いてお互いの作品を鑑賞したり、アイデアを出し合ったりする場を設けています。ICT の活用は、自分の作品やワークシートを写真を通して見たり、他の作品と比べたりすることで、客観的に自分の作品を見られる点や、活動環境としてもソーシャルディスタンスを保つことができるというメリットがあります。さらに、生徒の制作中に見られた工夫や、おもしろいアイデアなどを教師がその場で撮影し、その時間内にテレビ画面に映して全体に紹介するなど、すぐに授業に反映できる点も、造形的な見方・考え方を生かしながら資質・能力を伸ばし、豊かな情操を育むことに役立っています。

### (2) 環境作り

教室環境として、仲間の制作途中の作品を展示するコーナーを設けたり、過去の展覧会のポスターや書籍を自由に見られるようにしたりするなど、生徒たちが美術と自由に関わることができるようにしています。生徒たちも、他者の作品への興味が高く、展示を積極的に見る姿が見られます。

また、制作後の片付けにおける思いやりなど、心の指導も行っているようにしています。美術室を使う際には、次の人のことを考えて、机上の消しカスをゴミ箱に捨てることや机を整頓することなどを心掛けさせることで、自主的に掃除をしたり、道具を丁寧に使用・返却したりするなどの習慣が身についています。

## 3 おわりに

コロナ禍で制作制限のある中での取組ではありましたが、今年度、画の部 中学校部門文部科学大臣賞（団体の部）を受賞することができたことを、たいへん光栄に思います。今回の受賞は、学校全体の意欲向上につながるとともに、生徒たち一人一人にとっても大きな励みとなり、これからの活動に繋がっていくことと思います。最後になりますが、このような状況下でも変わらずコンクールに応募させていただけたことに深く感謝しております。

ありがとうございました。

